

令和5年度校内研究 高学年分科会提案

令和5年11月28日
杉並区立富士見丘小学校
高学年分科会

1 研究主題について

《 研究主題 》

学びの構造転換「キャリア教育の推進」

～すべての子どもが、なりたい自分になるために～

研究主題及びキャリア教育目標を受け、高学年分科会では、子どもたちが自分を理解し、よりよく伸びていこうとするために必要なことは何かを検討し、以下のように捉えた。

◎相手の気持ちや状況を理解し、心地よい関わり方を工夫する **【よりよい人間関係の構築】**

◎周りの意見に左右されず、自分の考えに自信をもつこと **【自分に必要な力を身に付ける】**

◎様々な人の生き方に触れることで、自分がどう生きていきたいかを考えること

【なりたい自分の姿について考える】

このような学習や経験を意識して重ねていくことで、よりよい自分、なりたい自分になろうとする気持ちを育てていきたいと考えた。

2 目指す学びと指導の工夫

(1) 主体的な学び

○導入

導入で、アンパンマンや、やなせたかしさんについて知っていることや特徴を聞き、興味・関心を高めてから本文に入ること、主体的に取り組みやすくする。児童にとって身近な題材である長所を生かし、授業に参加するハードルを下げることを狙いとする。

(2) 対話的な学び

◎対話の形態

個→グループ→全体の形態で学習を進めることで、自分の考えと比べながら友達の意見を聞いたり、よいところを取り入れたりできるようにする。

◎ペア交流の活用 **(本時の重点キャリア目標)**

考えを交流する際に、自分の意見の伝え方に重点を置き、自分も相手も心地よく関わり合える話し合いをすることを大切にしたい。言葉遣いや声の抑揚、視線など、自分がどのように伝えようと相手は聞きやすいのかを考えて行動することで、相手を思いやる姿勢を育てたい。ここを重点的に指導し、良い行いを賞賛することで普段の生活でも相手を思いやる姿勢を大事にして、互いに心地よい関わり方ができるようにしていきたい。

(3) 深い学び

○図書時間の活用

本単元と並行して図書の時間を活用し、伝記読みを促すことで、より多くの人の生き方に触れる機会を作る。単元を通して学習したことを、これからの自分の生き方に繋げられるようになることで、より深い学びになると考えた。

3 分科会として見ていただきたい視点（本時の学習）

視点① 導入でアンパンマンややなせたかしさんのことについて発言させることは、その後の活動に主体的に取り組む手立てとして有効だったか。

視点② グループ学習の時に伝え方を工夫させたり、工夫している児童を賞賛したりすることは、互いに心地よい関わり方をするための手立てとして有効と考えられるか。
→学習活動4, 5において、話合いの内容が生かされた振り返りを行っているか。

※ 藤田先生からの指導・講評の中でいただく視点と併せて、
グループ協議をお願いいたします。